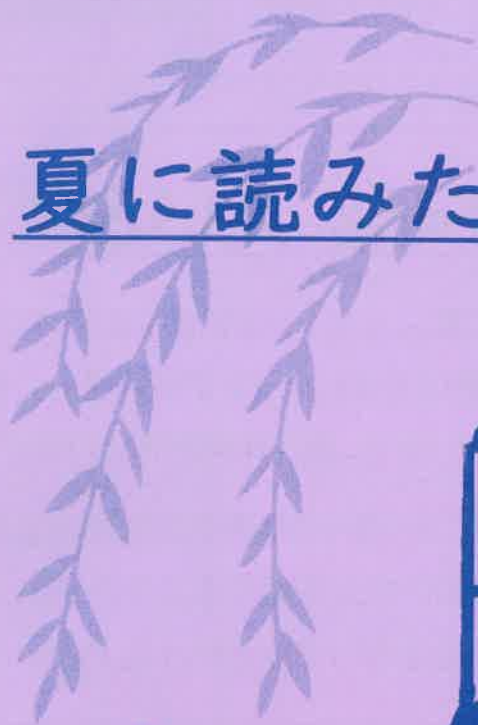


永福の本欄

2020/8

夏に読みたい怖い話



特集コーナー



「夏に読みたい怖い話」

『江戸の怪異と魔界を探る』

飯倉義之／監修 カンゼン

請求記号:388カ

ISBN:978-4-86255-547-2



江戸の人々が恐れた怪異を、浮世絵や挿絵とともに紹介。江戸を魔物から守る「鬼門封じ」、平将門などの怨霊、妖怪、お岩さんやお菊などの幽霊、七不思議などなど。怨霊探訪の地図も載っているので、こわいものみたさで歩いてみてはいかがですか？

『図説百鬼夜行絵巻をよむ』

田中貴子／著(ほか) 河出書房新社

請求記号:721タ

ISBN:978-4-309-76265-4



室町時代から見られる「百鬼夜行絵巻」を国文学、美術史、民俗学などの観点から解説する。絵巻の中の妖怪たちは、鬼、鳥獣戯画風の兎や猿、年を経た器物が変化した付喪神など、時にユーモラスな姿で描かれていることもあるが雰囲気は恐ろしげで、夜に昔のようなわずかな灯りの下で眺めるのには勇気がいりそうだ。

古くから伝わる妖怪や幽霊、説明のつかない奇妙な噂や怪談など、夏にぴったりの「怖い話」の特集です。時代や洋の東西を問わず、背筋が凍るような本を集めました。怖いとわかっている、ページをめくると手が止まらなくなることを請け合いです。

『ぼっけえ、きょうてえ』

岩井志麻子／著 角川書店

請求記号:913.6イワ

ISBN:4-04-873194-7



時は明治、岡山の遊郭で女郎が寝つかれぬ客に語り始めた身上話とは… タイトルは、岡山弁で「とても怖い」という意味。表題作のほか、いずれも明治時代の岡山を舞台にした「密告函」、「あまぞわい」、「依って件の如し」の三篇も収録。密度の濃い土俗的な恐怖に圧倒されます。

『かわうそ堀怪談見習い』

柴崎友香／著 KADOKAWA

請求記号:913.6シハ

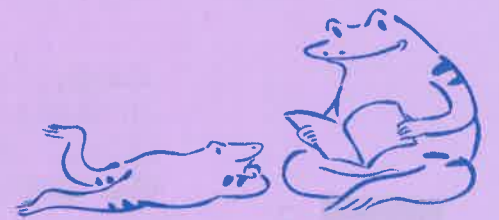
ISBN:978-4-04-104831-3



日常のちょっとした不思議なできごと。もしかして…と考えると本当になってしまいそうな、ささいな違和感。子供の頃の不可思議な記憶。怪談を書こうと決意した作家が主人公の、ざわざわとした感触の連作短篇集。この本との出会いにも何かありそうに感じてしまう。そして「鈴木さん」とはいったい誰なのだろう…。



新着図書コーナー



『パラリンピックと日本 知られざる60年史』

田中圭太郎／著 集英社
請求記号:780タ
ISBN:978-4-08-781686-0

パラリンピックは、オリンピックとは起源が異なります。もともとリハビリとして始まった障害者スポーツは、どのようにしてパラリンピックにつながったのでしょうか。その歴史と発展に日本が深く関わっていることを、関係者の証言を交えて紐解きます。



『正多面体は本当に5種類か』

やわらかい幾何はすべてここからはじまる』

小林吹代／著 技術評論社
請求記号:414コ
ISBN:978-4-297-11385-8

「本当に？」と念を押されてしまうと用心して慎重に捉えてしまいがちな数学の問題。折り紙やタイルを使って、工作する感覚で取り組んでみると、新しい発見があるかもしれません。折る、重ねる、ひっくり返す……等、一つの見方、常識に捉われない柔軟な発想で幾何に挑戦してはいかがでしょうか。



『家族写真 3.11原発事故と忘れられた津波』

笠井千晶／著 小学館
請求記号:369.3カ
ISBN:978-4-09-388767-0

東日本大震災では、福島第一原発事故による放射能汚染という二次災害を引き起こした。近隣の海岸沿いは、津波の被害が甚大だったにもかかわらず行方不明者の捜索は置いてきぼりだった、と家族4人を失った上野敬幸さんは語る。ジャーナリストでもある著者が残された家族を映像とともに追いつけたドキュメンタリー。



感染症予防対策に

ご理解とご協力をお願いします。



【図書館からのおねがい】

- ・マスクを着用の上、できるだけ少人数でご来館ください。
- ・入口で手指消毒し、入館してください。
- ・滞在時間はできるだけ、短くするようお願いいたします。
- ・発熱や風邪の症状がある等、体調がすぐれない方は、来館をお控えください。
- ・混雑の状況により、入館人数の制限をすることがあります。
- ・身体的距離の確保にご協力をお願いします。
- ・館内での会話はお控えください。
- ・図書館の本やCDなどのご利用の前後には手洗いをお願いします。

『小説版韓国・フェミニズム・日本』

イラン／著(ほか) 河出書房新社
請求記号:929.1カ
ISBN:978-4-309-02883-5

創刊以来86年ぶりの3刷となった「文藝」2019年秋季号の特集から、小説を集め単行本化した一冊。日韓12人の作家たちの作品が交互に収録された、パワフルなアンソロジーです。本邦初紹介の韓国の覆面SF作家デュナの作品や、松田青子の書き下ろしなども追加され、いま読んでおきたい作品が満載です。



えいふくイベントレポート

8月から感染予防対策を講じ、イベントが始まります。8月は主に児童向けのイベントを行います。お話会、工作会、生きもの教室など。今までより募集人数は少なくなりますが皆様のご参加をお待ちしております。9月からは一般の皆様にもご参加いただけるイベントをご用意しております。順次発表させていただきますので楽しみに。

館内にポスターを掲示しておりますが、現在の永福図書館は移転準備のため、来年1月から休館を予定しております。休館中は予約した資料の貸出と返却の窓口を開設する予定です。館内に立ち入ることができるのは12月末までの予定です。あと5か月、今の永福図書館での思い出を作っていただけのようなイベントなどを準備しております。

8月号スポット紹介

「いざ！入門・再挑戦！」

展示期間：2020/8/7（金）～9/2（水）予定

読書や映画・美術鑑賞、ニュース、またはビジネスの中でも、ふとしたきっかけから興味が湧いたり、もう少しこの事柄についての知識があればより理解できたと感じたりすることがあります。今月は、知識を深める、または入口になる、様々なジャンルの入門書を集めました。



永福図書館からの

お知らせ

開館時間 (月曜～土曜) 午前9時～午後8時
(日曜・祝日) 午前9時～午後5時

8月の休館日

8月6日(木)、20日(木) 予定

毎年恒例 夏休みスタンプラリー

本を借りたり、イベントに参加したり、おすすめの本を書いたりして、スタンプをもらおう！スタンプ5つで缶バッジをプレゼント！

【期間】 8月1日(土)～8月31日(月)まで

永福図書館の8月はイベントがいっぱい！奮ってご参加ください。
(イベントはすべて申込制です。詳細はお問合せください。)

①ちょっぴりこわいおはなし会 (対象:幼児～小学生/定員30名)

8月5日(水)11:00～11:30 @地下講座室/申込受付:7/21(火)9:00～

②小学生のためのお話会・夏 (定員20名)

8月8日(土)11:00～11:45 @地下講座室/申込受付:7/25(土)9:00～

③永福かがく研究所 光るスライムをつくろう! (対象:小学生/定員16名)

8月12日(水)10:30～12:00 @地下講座室/申込受付:8/1(土)9:00～

④としょかんたんけん (対象:小学生/定員各日8名)

8月5日・12日・19日・26日(水曜日、おはなし会終了後)15:35～15:50

/申込受付:8/1(土)9:00～

「館内での飲食は、基本的に禁止です。」

ただし、ペットボトルや水筒のような、密閉できる容器での水分補給はしていただくことができます。飲み終わったら必ずフタを閉め、こぼしたり、水滴で図書館資料などが濡れないようご注意ください。

問合せ：永福図書館 (杉並区永福4-25-7 ☎ 03-3322-7141)

永福の本棚 2020年8月号 (通巻278号)

※書籍の表紙画像は、出版社の許諾を得て掲載しています。